

要件事項	<p><航空／海上業務> 輸入申告番号重複の対応</p>
機能概要	<p><変更前仕様> 輸入申告番号のカウンタが一周したことにより、資金DB上および申告添付DB上において、輸入申告番号の重複が発生し、不正な更新が行われる。</p>
	<p><変更後仕様> ①輸入申告事項登録時に、資金DBおよび申告添付DB上の輸入申告番号の存在チェックを行い、重複が発生しないように変更する。 ②資金DBの無効化処理について、審査終了済みの申告に対してのみ、無効化処理を実施するように処理条件を追加することで、旧申告の資金DBについて、更新しないように変更する。</p>

1. 変更内容

(1) 今後重複が発生しないための変更

(A) 「輸入申告事項登録（IDA）」業務および「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務の申告番号払出処理の条件追加

①資金DB存在チェック

申告番号払い出し処理時に、資金DBに存在しない番号であることをチェックし、存在する場合、別の申告番号を払い出すように変更する。

資金申告共通DBの「税関官署コード」項目＋「輸入申告番号等」項目において、IDA業務およびSWA業務時点のあて先官署コード*1の元官署税関官署コード（税関官署DB）と申告番号（11桁）の組み合わせについて、申告番号の枝番（末尾1桁）0または1が存在しないことをチェックし、存在した場合、別の申告番号を払い出すように変更する。

（*1）特例申告あて先官署コードが登録されている場合、特例申告あて先官署コード

②申告添付DB存在チェック

申告番号払い出し処理時に、申告添付DBに存在しない番号であることをチェックし、存在する場合、別の申告番号を払い出すように変更する。

添付ファイル管理DBの「申告等番号」項目において、申告等番号（10桁）が存在しないことをチェックし、存在した場合、別の申告番号を払い出すように変更する。

(B) IDA業務、SWA業務および「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務の官署変更時に新規チェック処理追加

官署変更実施時に、資金申告共通DBの「税関官署コード」項目＋「輸入申告番号等」項目において、変更後のあて先官署コード*1の元官署税関官署コードと申告番号（11桁）の組み合わせについて、申告番号の枝番（末尾1桁）0または1が存在しないことをチェックし、存在した場合、エラーとするように、新規チェック処理を追加する。

表1. エラーメッセージ文言

エラーコード	内容	処置
E0569	本業務で払い出された申告等番号及び税関官署コードが資金DBに存在している。	①輸入申告事項登録を実施し、申告等番号を新規に払い出す。 ②システムでの輸入申告等はできないため、手作業に移行する。

(2) 現状、重複が発生していて、不正更新を防ぐための変更

(A) IDA01業務の資金DB無効化処理条件の変更

資金DBの無効化処理について、輸入（引取・特例）申告または特例申告*²以外の場合で、納付すべき税額がある場合で、審査終了済み（予備申告審査終了・BP申請審査終了を除く。「審査終了年月日／IC・IS」がスペース以外）の申告に対してのみ、無効化処理を実施するように処理条件を追加する。ことで、旧申告の資金DBについて、更新しないように変更する。

(*2) 申告等種別は以下のとおり。

輸入（引取・特例）申告	: 申告等種別「J」
特例委託輸入（引取・特例）申告	: 申告等種別「P」
蔵出輸入（引取・特例）申告	: 申告等種別「R」
特例申告	: 申告等種別「T」
特例委託特例申告	: 申告等種別「V」

2. 変更対象業務

- ・「輸入申告事項登録（IDA）」業務
- ・「シングルウィンドウ輸入申告事項登録（SWA）」業務
- ・「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務

3. 特記事項

- (1) 個別項目
なし

4. リリース予定日／サービス開始予定日

2021年02月18日（木）